喜寿記念 郵遊世界一周

（ Around the World Voyage Enjoying Philately to Celebrate 77 Years Old ）

横浜出港　14.Dec 2023

中川　清　Kiyoshi Nakagawa P.E.J.

1．出発まで

2020 年 12 月出航の南回り世界一周の船旅に申し込み、旅行代金全額を払い込んだのは 2019 年 9 月だった。

その年の 12 月、中国武漢で発生した新型コロナウイルスは瞬く間に全世界に蔓延し、2020 年 1 月には日本国内でも感染者が発生し、患者数の増加に伴って死者数も増え**“医療崩壊”**の危機にさらされた。

9 月 9 日、ジャパングレース(株)から「12 月出航予定のクルーズ中止」の連絡があった。

それから 3 年、2023 年 5 月にコロナウイルスの 5 類移行が決まり、世の中が**“コロナとの共存”**のフェーズに入り、クルーズが出港できそうな環境になってきたので、本格的な準備を進めた。

■パスポート

9 月になってパスポートの有効期限を確認すると、6 月に失効していたので新たに取り直すことになった。本籍地が茨城県にしてあるので戸籍謄本を請求すると本籍地の番地が違うと言われ、何度か電話でやり取りの後、戸籍謄本が送られてきた。

■円安・原油値上がりによる旅行代金追加請求

円安と原油の値上がりで旅行費用の追加請求があった。その額は 45 万円を超え少ない金額ではなかったが、“行くのは今でしょう“なのでそのまま支払った。

2016 年の旅友の中には、2024 年以降のツアーに変更した人もいた。

■国際免許証

11 月になって、山梨県運転免許センターに免許証・写真・印紙代を持っていくと、1 時間ほどで交付してくれた。(図 1)

今回寄港する国で、日本発行の国際免許証が使えないのは、ブラジルだけだ。

日系人が多いブラジルで使えないのは何とも不思議な気がする。

そういえば、ブラジル入国にビザが要る要らないで出発直前（10 月）までもめた。(結局、要らないことになった)

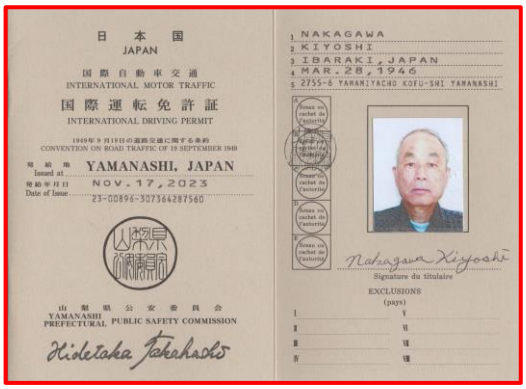


図 1 国際免許証

■健康診断書

海外旅行保険の加入が義務づけられ、75 歳以上の人は「健康診断書」を添付しなければならない。

品川の総合病院に行くと、「旅行目的なので保険がきかない」といわれ、2 万円近く払った。「〇〇の具合が良くないので」と言えば保険がきいたかも。

■外貨

必要外貨は、ドル、ユーロ、南アフリカランドだという。南アフリカとナミビヤでは、ドル、ユーロは使えないとあるので、ランドを交換してくれる場所をネットで探した。

円高になりそうなので交換を待っていて、12/7に交換しようとすると「インバウンド需要が強く、窓口要員を確保するため、外貨発送サービスはしばらく中止」になっていた。仕方なく、店のある「成田空港」まで交換に行き、ついでにドル、ユーロも交換した。

アフリカランドを5万円分交換したら分厚い束を渡された。2016年にベネズエラに寄港したとき、1万円交換したら分厚い札束を2つ渡され、某氏の奥さんが“にわか成金”になったように喜んでいたのを思い出した。

ドル、ユーロ、そしてシンガポールドル、マレーシアドルなどは2016年の残りも持参することにした。(図2)

ランド紙幣の束

外国貨幣【2016年の残り】

図2 準備した外国貨

■必要なもの

2015年の南極探検で作成し、2016年の北極圏を巡る地球一周の旅で見直したリストを改めて見直した。

南半球の夏なので基本的に夏の服装なのだが、オプショナル・ツアで「「ウユニ塩湖（標高約3,700m）と世界最高所の首都ラパス（空港は標高4,060m）に行くし南極の玄関口・アルゼンチンのウシュアイアにも寄港するので冬物も必要だ。

高齢になったので、以前は不要だった健康を守るための常備薬が増えた。

それらの一部を（表1）に示す。

表1 必要な品リスト（1/3）

区分	品名	推奨数量	必要性(MHの主観)	備考
貴重品	パスポート	1	◎	
	ビザ	1	◎	ロシア個人行動に必須
	日本国運転免許証	1	◎	レンタカー運転用
	国際運転免許証	1	◎	レンタカー運転用
	クレジットカード	1	◎	
	米ドル	ドル	◎	
	日本円	円	◎	
	ユーロ	ユーロ	◎	
	海外旅行保険証	1	◎	
	南アフリカ	ランド	◎	
健康を守るため	葛根湯	1	○	風邪薬
	ムヒ	1	◎	虫刺され
	ニベア	1	◎	保湿クリーム
	バンドエイド	1	◎	切り傷
	鉄亜鈴	1式	◎	船内ウオーキング用
			◎	
			◎	
衣類	Tシャツ		◎	
	長袖シャツ		◎	薄手、厚手各2
	ウインドブレーカ	1	◎	風雨の強いデッキで着用
	スーツ一式	1	◎	パーティとディナー用
	アロハシャツ	(1)	○	パーティとディナー用
	浴衣	1式	◎	パーティとディナー用
	羽織+紐	(1)	○	パーティとディナー用
	長ズボン	(3)	◎	
	半ズボン	2	◎	
	靴下	5	◎	薄手3、厚手2
	下着	3組	◎	化繊のもので可
	パジャマ	(1)	◎	薄手のもの(洗濯容易)
	帽子	(2)	◎	つば付
	サングラス	1	○	
	水着	(1)	◎	海中温泉
	レインコート	1	◎	100均
	折りたたみ傘	1	◎	
	ﾊﾟｰｶｰ	(1)		
	ﾈｸﾀｲ	(2)		
	Yｼｬﾂ	2		
履物	スニーカー	1	◎	
	サンダル	1	◎	船内履き
	パーティ用靴	1	◎	

■予想外の大荷物

私が所属する切手を集める趣味の会・甲府郵趣会が 2023 年で創立 75 周年を迎えた。記念の切手展と切手教室を 10/14～15 に甲府駅北口の県立図書館を借りて開催し成功裡に終えることができた。

記念イベントには①「切手展」のほかに②「記念誌」の発行そして③「甲斐国から山梨の郵便印」の記録集の発行が残されている。

「記念誌」を構成する a）会員の収集歴と将来の夢は甲府にいる間に目途をつけたが、b）75 年の歩みがまとまっていない。

私が会に入ったのが平成元年だから 35 年近く出たり入ったりしていたが、会の運営に携わるようになったのはここ数年だから、平成の初めの頃のことでもほとんど分からない。ましてや、2 歳の幼児だった創立時のことなど全くわからない。

幸い『正史』に相当する「郵趣会報」は創刊号を含めて７、８割方残っていて、会長や古い会員から私が預かっている。航海中にそれらを通読して『正史』をまとめてみようと思いたった。それを古い会員に読んでいただければ、『真実』や『異論』が出てくると考えたからだ。それらを総合すれば、より真実に近い 75 年の歩みがまとまるはずだ。

2023 年末現在、会報は 476 号を数え、その 8 割方として 400 号。1 号 10 ページとして 4,000 ページあるのだ。これだけでひと荷物で、重さは 30 キロを超える。飛行機の旅だったら追加運賃だけでべらぼうな金額が請求されるはずだが、船旅の良さ、自分の居室に運び込めるだけの量なら追加料金はかからないのだ。

こうして、荷造りも完了し、出発を待つばかりになった。

２．出発の朝

2023 年 12 月 14 日、出発の朝を迎えた。この日、次男が会社を年休で休み横浜港まで送ってくれたので、心強い。

■品川・御殿山局で記念押印

記念はがきと封書を持って自宅から一番近い品川・御殿山局に行って、押印してもらった。

カシェには世界地図と航路を描き、寄港する港の名前を書き込んである。ただ、12 月になってレユニオン島への寄港が取りやめになり、その代わりマレーシアのペナンに寄港するなどの変更があったがそれには対応しきれていない。

2024 年用年賀 63 円貼

2024 年用年賀 84 円カラーマーク部ペア貼

図 3 品川・御殿山局記念カバー

■横浜港局で記念押印

品川を 11 時に出て、途中ファミレスで昼食を食べても 12 時 40 分ごろ横浜港局に着いた。

通いなれた横浜港局ではがきと封書各 2 通に押印をお願いしたところ、丸型欧文印が切手にかからないという失敗作だったのもご愛敬だ。

はがきには 2024 年用年賀 63 円切手と 1958 年（昭和 33 年）発行の「横浜開港 100 年」記念 10 円切手を加貼、1 葉には丸型欧文印、もう 1 葉には風景印を押して貰った。（図 4）

封書には 2009 年（平成 21 年）発行の日本開港 150 周年記念 80 円切手ペア貼で丸型欧文印と風景印を押して貰った。（図 5）

図 4 横浜港局記念はがきリーフ

図 5 横浜港局記念封書リーフ

■荷物を下ろす

車を大桟橋のローターリーにつけてもらった。次男が車から荷物を下ろしている間に荷物運搬用の「横浜港湾局」の名前の入った台車を持ってきて積んでみた。

これだけの荷物を一人で船室まで運ぶとするとプリンタとパソコンが入ったディバックを持って来た背負子（しょいこ）に荷造り用ベルトで固定して背負い、旅行用品が入ったトランクと「会報」が詰まった「ゴロゴロ」を両手で引っ張って行くしかないと腹をくくっていた。（図 6）

図 6 これだけの荷物を一人でどう運ぶ

乗船客用の大型荷物は受付場所があって、そこにトランクと「ゴロゴロ」を預けると船室まで運んでくれると聞き荷物問題は解決だ。（無料だと知らず、大汗かきながら、自分で運んだ人がいたと後で知った。）

ここで、見送りに来た妻と次男ともお別れだ。

■受付

旅行会社の受付で、①パスポート②クレジットカード③旅行会社の受付カードの 3 点を提示する。①パスポートは有効期限、電子対応か②クレジットカードは有効期限などをチェックし OK となると ID カードなどが入った袋を渡してくれる。

ID カードは、船内での支払いなどに使うクレジットカードや船室のキーの役割をもっているので、なくさないよう、船室から締め出されないよう常時首からぶら下げることにした。

後で知ったのだが、ID カードには交代制の夕食の時間【17：00】や非常時の集合場所【マスターステーション　C】などが印刷してあった。

■出国

パスポートを提示すると、「マスクを外してください」と言われ顔写真と見比べてすぐ OK だ。

■乗船

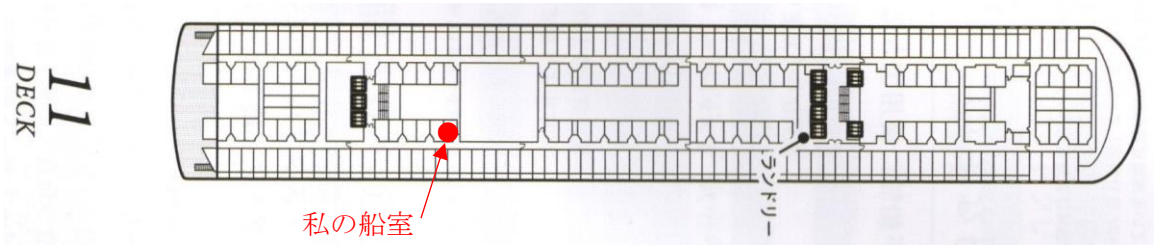
パスポートを旅行会社の人に渡して、船に乗り込む。すぐにボーイさんが来て、プリンタを持ってくれ船室まで案内してくれた。14 時前だった。

2016 年に乗った船は 35,000 トンくらいだったが、今回乗った「パシフィック・ワールド号」は 77,000 トンを超え、乗客定員 2,400 名を超え、2 倍以上大きい。

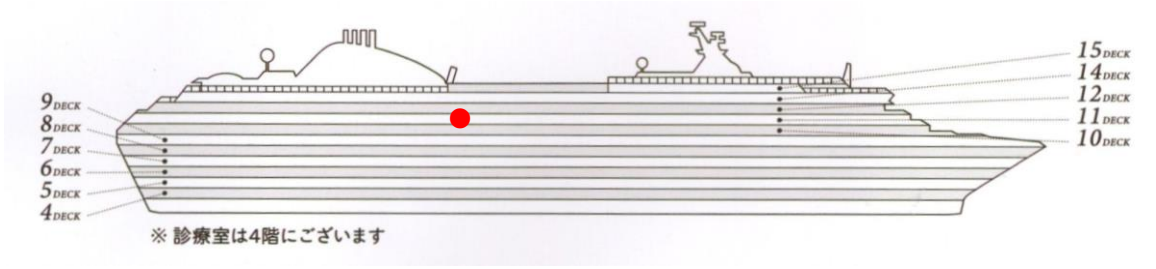
全長 261ｍあり、デッキを 3 周すると　　1 マイル（約 1.6ｋｍ）になるとウオーキングの目安が掲示してある。

私の船室は、11 デッキ（階）にあり“ALOHA“と呼ばれ、船室番号は A611 号室だ。10 デッキは、”BAJA“、以下”C”、“D”となっている。（図 7）

エレベータの表記はデッキの No なので、E338 の部屋に行くには、何階にあるのか最初のころは指折り数える始末だった。船室の電話番号は 11611 になる。



平面図



側面図

図 7 パシフィック・ワールド号　デッキプラン

■荷物を片付ける

船室は 2 人部屋で、シャワーとトイレがついている。ベッドも広く、ベッドの下が空間になっているので、トランクや「ゴロゴロ」がそのまま収納できる。

問題は、どちらを使うかで、相方が来るまで待つしかない。1 時間以上待って相方が来たので、船尾側のベッドで 100V 電源が来ている机を「パソコンを使いたいから」と言って使わせてもらうようにした。

洋服等は作り付けの衣装タンスにしまい、あらかた整理し終わったのは 17 時近かった。

次は、パソコンとプリンタの動作確認だ。その前に、電圧のチェックだ。2016 年の時は、200V 電源に 100V 用プリンタを接続して、一瞬にして“パア”にした苦い経験があるので、今回は電圧を測定する「テスタ」を持参して確認した。

100V と言っているが、実測すると 115V あるが、このくらいなら許容範囲だ。(図 8)

パソコンと接続して印刷してみると、正常に印刷できる。

これで、今回の旅は、一段と楽しくなりそうだ。

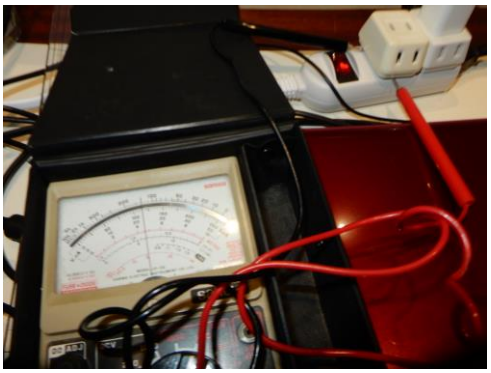


図 8 テスタで電圧を測定する

■初めての夕食

ここまでやり終えて時計を見ると 18 時だった。いつもの夕食の時間なので、5 階のダイニングレストランに行くと ID カードを見て、夕食喫食時間を過ぎているからダメで、14 階の「ホライゾーンコート」に行けば、朝 5 時から夜 24 時まで、ビュッフェスタイルの日本食、中華、洋食、イタリアンなどが食べられるというのでそこに行く。

料理の種類も豊富で、デザートの果物や菓子類もあるし、コーヒー、紅茶など飲み放題だ。

それほど動いてもいないので、初日は少し控えめの量にした。味もまずまずで、何より私の好きな果物が食べ放題なのがうれしい。(図 9)

図 9 初日の夕食

■出港式

食事を終えた頃、突然スマホが鳴った。まだここは横浜市内にいるのと同じでスマホで通話ができるのだ。

2016 年のとき一緒だった T さんからで、「18：30 から出港式があるから一緒に見ません」とのお誘いだった。

7 階の「プロムナードデッキ」の右舷側に行くと大勢の人込みで見つからない。船尾側に回り込んでみると T さんとルームメイトの姿が見えた。何年ぶりかの再会だった。

式が進み、何の前触れもなく気が付くと船は岸壁を離れていた。2016 年の時は、派手に「ドラ」が打ち鳴らされて出港だとわかったのだが、最近は味気がなくなった。

この様子をビデオに撮り、千葉の孫娘一家に LINE で送ると、「じいじ、気を付けて行ってきて下さい」と返事があった。

■ベイ・ブリッジを潜って太平洋へ

船はゆっくりと向きを変え、太平洋に向かって動き出し、徐々にスピードを上げて行く。

図 5 の封筒に貼った夜景の切手の様な光景がだんだん遠くなる。(図 10)

ベイ・ブリッジを潜るとさらに速度を上げ、明日の朝眼を覚ますころには、太平洋をハワイ島ヒロに向かって進んでいるはずだ。

図 10 横浜の夜景が遠ざかる